

平成25年 (2013)

看護学専攻

著書および学術論文

1. 齋藤君枝, 青木萩子, 加藤真由美. 介護保険施設における入浴できない利用者に対する清潔ケアの現状. 看護実践学会誌. 2013 ; 25 (1) : 83-89.
2. 齋藤君枝, 青木萩子, 藤原直士, 他. 平成16年新潟県に設置された応急仮設住宅の室内環境と居住高齢者の変更への影響. 日本災害看護学会誌. 2013. ; 14 (2) : 25-34.
3. 永吉雅人, 杉田 収, 橋本明浩, 小林恵子, 平澤則子, 飯吉令枝, 曾田耕一, 室岡耕次, 坂本ちか子. 児童・生徒 (6-15歳) の化学物質過敏症状に関するアンケート再調査. 室内環境. 2013 ; 16 (2) : 97-103.
4. Uchiyama M, Lee Y, Sadakata M, Tsai DY, Sayama M. Effects of mammography positioning on the autonomic nervous function. Health. 2013 ; 5 : 1335-1341.
5. 内山美枝子, 矢川麻梨子. 手記にみるマンモグラフィ受検時の体験構造. 新潟大学医学部保健学科紀要. 2013 ; 10 (3) : 79-88.
6. 小山千加代 : 死の準備教育. 関東医学哲学・倫理学会(編) : 新版医療倫理Q&A. 太陽出版, 2013, 東京, p183-184.
7. 小山千加代 : 「前期高齢者」「後期高齢者」「超高齢者」「老年期の発達課題」. 永井良三, 田村やよひ(監) : 看護学大事典第6版, メヂカルフレンド社, 2013. 東京, p1291, 674, 1479, 2270.
8. 小山千加代. 高齢者の看取り一患者の生きようとする力へのささやかな助力一. 医学哲学と倫理. 2013 ; 第10号 : 24-27
9. Ikue Kiryu, Tomoko Saitoh, et al. Dietary Habits and Issues of Junior High School Students in a Town in Gunma Prefecture. THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL. 2013 ; 63(4) : 375-379.
10. 桑原 梓, 桑田真由美, 星野尚子, 戸川紀子, 坂井さゆり. 高齢の熱傷患者に対する看護指標作成に向けた看護記録を利用した後ろ向き研究. 新潟大学医学部保健学科紀要2013 ; 10 (3) : 73-77
11. 坂本 信, 定方美恵子, 渡邊タミ子, 住吉智子, 藤原直士, 平野茂樹, 佐井篤儀, 鈴木 力. 臨床力と研究力を融合できる大学院教育 -臨床力と研究力のダブルストランドで織りなす高度専門医療職教育-. 新潟大学高等教育研究. 2013 ; 1(1) : 41-46.
12. 三富亜希, 鈴木 力, 村松芳幸, 青木萩子, 佐藤信昭, 神林智寿子, 金子耕司. 術前外来化学療法を受ける乳がん患者のQOLに影響する要因の検討. 新潟医学会雑誌. 2013 ; 127(10) : 525-537.
13. 成田太一, 宇田優子, 小林恵子. 信越地域の地域包括支援センターにおける自然災害対策の実態と課題. 日本地域看護学会誌. 2013 ; 16 (1) : 12-19.
14. 西方真弓, 定方美恵子, 中澤紀代子, 西原亜矢子, 牧岡諒太, 坂本 信, 小浦方 格, 笠井美香子, 井越寿美子, 廣川佐代子, 佐藤富貴子, 田邊裕裕. 視線運動測定とリフレクションを用いた新人看護師への教育支援の検討～教育支援者の働きかけの分析～. 第43回日本看護学会論文集 看護管理. 2013 ; 319-322.
15. 西方真弓, 大野とも子, 佐山光子. 母体搬送時や搬送となった女性にかかわる際に助産師が体験する困難さ. 母性衛生. 第54巻1号 : 130-137
16. 平野茂樹, 村松芳幸, 坂本 信, 藤原直士, 定方美恵子, 齋藤君枝, 住吉智子, 山崎芳裕, 富山智香子, 伊藤 斎, 佐々木孝一, 蒲生 実. 学生と教員が学び鍛え合う保健学教育～専門性を理解し合いインタラクティブに学び鍛え合う保健学教育. 大学教育・学習研究1(1). 2013 : 29-34.

学会発表および研究会発表

1. 齋藤君枝, 青木萩子, 藤原直士. 応急仮設住宅に居住する避難者のアクティグラフを用いた睡眠評価～一般住民との比較～. 第83回日本衛生学会学術集会. 2013. 3 (金沢).
2. 青木萩子, 成澤幸子, 齋藤君枝: グループホームに居住する認知症高齢者のwandering関連行動と気象の検討. 第28回日本老年精神医学会. 2013. 6 (大阪).
3. 齋藤君枝, 青木萩子, 岩佐有華, 藤原直士. 応急仮設住宅に居住する原発避難者の睡眠障害と関連要因～一般住民との比較. 第15回日本災害看護学会年次大会. 2013. 8 (札幌).
4. 内山美枝子, 李鎔範, 蔡篤儀, 風間清子, 皆川靖子. マンモグラフィポジショニングが身体筋活動と苦痛に及ぼす影響. 日本放射線技術学会第69回総合学術大会. 2013. 4 (横浜).
5. 内山美枝子, 李鎔範, 定方美恵子, 蔡篤儀, 佐山光子: マンモグラフィ撮影ポジショニングが自律神経機能に及ぼす影響. 医用画像情報学会平成25年度年次(第166回)大会. 2013. 6 (福岡).
6. 内山美枝子, 田中美央, 井越 寿美子, 佐藤 富貴子. ‘気づく’に着目した新人研修におけるトレーニングプログラムの有用性の検証ー第2報ー. 第17回日本看護管理学会学術集会. 2013. 8 (東京).
7. 内山美枝子, 李鎔範, 定方美恵子: マンモグラフィ撮影ポジショニングが自律神経機能に及ぼす影響. 日本看護技術学会第12回学術集会. 2013. 9 (浜松).
8. Uchiyama M, Sayama M, Sadakata M: The pattern of the mammography experience as seen from examinees' notes. 3rd Global Congress for Qualitative Health Research. 2013. 12 (Khon Kean, Thailand).
9. 菊永 淳, 坂井さゆり. 看護系大学学部生への緩和ケア教育ー実習記録にみる学生の認識による成長プロセスー. 第18回日本緩和医療学会学術大会. 2013. 6 (横浜).
10. 藍木桂子, 菊永 淳, 西方真弓, 他2名. 高齢初産を経験した娘をもつ母親の語り. 日本質的心理学会第10回大会 (京都).
11. 小林恵子, 齋藤智子, 成田太一: 漁村地域での全戸訪問を取り入れた地域看護診断実習における学生の学び. 日本地域看護学会 第16回学術集会2013. 8 (徳島).
12. Kobayashi K. Content of public health nurses to provide support to family child abuse and neglect. 3rd International Public Health Nursing Conference. 2013. 8. Galway, Ireland.
13. 小林恵子, 榎田健. 指導場面の再構成による新任保健師指導者のリフレクションを促す研修の実践. 第72回日本公衆衛生学会総会. 2013. 10 (津).
14. T. Mizuno, S. Sakai, N. Harasawa, T. Koyama et. Al. Relationship between Characteristics of Visiting Nurse Stations and End-of-Life Home Care for the Elderly Living Alone. ICN Conference Melbourne. 2013. 5. Australia.
15. T. Mizuno, N. Harasawa, S. Sakai, T. Koyama et. Al. End-of-Life Home Care for Elderly People Living Alone. ICN Conference Melbourne. 2013. 5. Australia.
16. 齋藤智子, 成田太一, 小林恵子. 漁村地域に暮らす住民の食生活の実態ー主たる食事づくり担当者の認識から. 日本地域看護学会第16回学術集会. 2013. 8 (徳島)
17. 齋藤智子, 小林恵子, 成田太一, 松本 裕. 在宅看護実習における学生の在宅看護技術の経験状況と課題. 第72回日本公衆衛生学会総会. 2013. 10 (三重)
18. 桐生育枝, 山田淳子, 齋藤智子, 他. 食育推進に向けた中学生と保護者の食生活調査. 第72回日本公衆衛生学会総会. 2013. 10 (三重)
19. 坂井さゆり. 認定看護師向け看護学生への効果的な講義法. 日本がん看護学会SIGホスピスケア・看護学生の緩和ケア教育を考える会合同企画交流集会. 2013. 2 (金沢).
20. 坂井さゆり. 欧州の看取りケア スウェーデン. 世俗化する欧州社会における看取りの思想的な拠り所の究明第5回研究会. 2013.10 (松本).
21. 坂井さゆり, 正木治恵, 桑田美代子, 吉岡佐知子, 西山みどり, 河井伸子, 松本容子, 遠藤和子, 長江弘子. 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム(ELNEC-JG)を修了した看護師の実践知.

- 第33回日本看護科学学会学術集会. 2013. 12 (大阪).
22. 遠藤あゆみ, 坂井さゆり. 文献にみる高齢者施設における緩和ケア・看取りの現状と課題. 日本臨床死生学会第19回大会. 2013. 12 (東京).
 23. 坂本 信, 田邊裕治, 定方美恵子, 笠井美香子, 井越寿美子, 佐藤富貴子: 看護工学分野の開発と教育. 工学教育協会第61回年次大会. 2013. 8 (新潟).
 24. 川合 功, 坂本 信, 定方美恵子, 西方真弓, 小林公一, 小浦方格, 笠井美香子, 井越寿美子, 佐藤富貴子, 西原亜矢子, 田邊裕治. 看護師の臨床経験が眼球運動に及ぼす影響. 日本機械学会2013年度年次大会. 2013. 9. 8 (岡山).
 25. 井越寿美子, 笠井美香子, 佐藤富貴子, 定方美恵子, 内山美枝子, 西方真弓, 田中美央, 西原亜矢子, 中澤紀代子, 坂本 信, 牧岡諒太, 小浦方格, 窪田陽介, 田邊裕治. 視線解析と行動画像を用いた教育プログラム開発~新人看護師と臨床経験豊富な看護師の際の活用~. 平成24年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議. 2013. 2. 8 (新潟.)
 26. 定方美恵子, 西方真弓, 西原亜矢子, 清野由美子, 井越寿美子, 笠井美香子, 佐藤富貴子, 川合 功, 坂本 信, 小浦方格. 新人看護師の‘観察・判断への気づき’を育てる教育プログラムの評価(1). 第8回医療の質・安全学会. 2013. 11 (東京).
 27. 柳生田紀子, 定方美恵子, 関島香代子, 佐山光子. バセドウ病をもつ女性の妊娠期の体験と思い. 第54回日本母性衛生学会. 2013. 10 (大宮)
 28. 柳生田紀子, 定方美恵子, 関島香代子, 佐山光子. バセドウ病をもつ女性の妊娠期の体験と思い. 第40回新潟母性衛生学会. 2013. 11 (新潟)
 29. Hiromu Sasaki, Ko Kawai, Yuji Tanabe, Makoto Sakamoto, Mieko Sadakata. Eye-Tracking Analysis of Nurses for Development of Nursing Skills in Patient Care. The8th International Sympojiumu on Advanced Science and Technology in experimental Mechanics. Nov, 3-6. 2013(Sendai).
 30. 林はるみ, 佐山光子, 定方美恵子. 生殖補助医療で妊娠した妊婦の夫の経験プロセス. 第15回日本母性看護学会学術集会. 2013. 7 (仙台).
 31. 石川 卓, 神田達夫, 矢島和人, 佐藤 優, 角田知行, 坂本 薫, 小杉伸一, 鈴木 力. 早期上部胃癌に対する噴門側胃切除例, 空腸間置法の有用性. 第85回 日本胃癌学会総会 2013. 3 (大阪).
 32. 角田知行, 小杉伸一, 佐藤 優, 坂本 薫, 石川 卓, 矢島和人, 神田達夫, 鈴木 力. 食道癌切除後長期生存患者の予後因子. 第113回 日本外科学会定期学術集会 2013. 4 (福岡).
 33. 坂本 薫, 小杉伸一, 神田達夫, 臼井賢司, 加納陽介, 若井淳宏, 石川 卓, 矢島和人, 鈴木 力, 若井俊文. 胸部下部食道癌および食道胃接合部癌に対する経裂孔的根治的食道切除術の治療成績. 第67回 日本食道学会学術集会 2013. 6. 13 (大阪).
 34. S Kosugi, T Kakuta, T Kanda, T Ishikawa, K Yajima, T Suzuki, T Wakai. Long-term Survivors after Radical Esophagectomy for Cancer : Assessment and Prognostication. ACS 2013 Annual Clinical Congress. 2013. 10. 7. Washington DC, U. S. A.
 35. 石川 卓, 小杉伸一, 坂本 薫, 臼井賢司, 加納陽介, 若井淳宏, 矢島和人, 鈴木 力, 若井俊文. 胃癌に対する腹腔内三部位洗浄細胞診と予後に関する検討. 第21回 日本消化器関連学会週間 2013. 10. 12(東京).
 36. 石川 卓, 小杉伸一, 市川 寛, 羽入隆晃, 坂本 薫, 鈴木 力, 若井俊文. 上部胃癌に対する噴門側胃切除術の功罪. 第43回 胃外科・術後障害研究会 2013. 11. 2 (新潟).
 37. 清野由美子, 内山美枝子, 田中美央, 井越寿美子, 笠井美香子, 佐藤富貴子. 新人看護職員の‘気づき’からみたトレーニングプログラムにおける教育目標達成の検証. 第44回日本看護学会 看護管理. 2013. 9(大阪).
 38. 関井愛紀子, 井越寿美子, 佐藤富貴子. 部署教育プログラムに対する教育指導者の配置と活動に関する評価と支援の検討. 第17回日本看護管理学会学術集会. 2013. 8. 25 (東京).
 39. 関島香代子, 定方美恵子, 佐藤 悦, 西方真弓, 齊藤里佳, 佐山光子. 子育て期被災者への支援活動を行

- う被災経験者を支える取り組み, 第15回日本災害看護学会年次大会, 2013. 8 (北海道).
40. 永井佳子, 関島香代子, 定方美恵子. 閉経期後期女性の健康に関する生活の質とストレス対処能力. 第54回日本母性衛生学会, 2013. 10 (大宮).
 41. 井越寿美子, 田中美央, 内山美枝子, 佐藤富貴子. ‘気づく’に着目した新人研修におけるトレーニングプログラムの有用性の検証—第1報—. 第17回日本看護管理学会. 2013. 8 (東京)
 42. 成田太一, 小林恵子, 齋藤智子. 漁村地域に暮らす壮年期男性の健康観と生活習慣の実態. 日本地域看護学会第16回学術集会, 2013. 8 (徳島).
 43. 成田太一, 小林恵子, 齋藤智子, 松本 裕. 地域看護学実習における健康教育の実習内容の分析. 第72回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10 (三重).
 44. 渡部美聡, 成田太一. 新潟市における高齢者の健康管理に対する自己効力感の研究—老人クラブに所属する高齢者へのアンケート調査から. 平成25年度新潟県看護協会看護学会, 2013. 11 (新潟).
 45. 山田倫子, 成田太一, 今村達弥, 他. 精神科デイケアでのWRAPクラスの実践とその効果. 日本精神障害者リハビリテーション学会第21回沖縄大会, 2013. 11 (沖縄).
 46. 山岸友紀, 小林美代子, 西方真弓, 片桐巳晴, 新潟県内の分娩取り扱い施設におけるグリーンケアの実態調査. 第40回新潟母性衛生学会 (新潟).
 47. 西方真弓, 関島香代子, 定方美恵子, 佐山光子, 金子絵美, 井之川京子. MFICUの入院生活に対するハイリスク妊婦の思い. 第40回新潟母性衛生学会, 2013. 11 (新潟).
 48. 西方真弓, 西原亜矢子, 清野由美子, 定方美恵子, 井越寿美子, 笠井美香子, 佐藤富貴子, 川合 功, 小浦方格, 田邊裕治. 新人看護師の‘観察・判断への気づき’を育てる教育プログラムの評価(2). 第8回医療の質・安全学会, 2013. 11-23-24. (東京)
 49. 西方真弓, 関島香代子, 定方美恵子, 佐山光子: 母体・胎児集中治療室に入院したハイリスク妊婦の当事者視点による生活の質の評価. 日本助産学会, 2014. 3 (長崎)
 50. 西原亜矢子, 定方美恵子, 西方真弓, 中澤紀代子, 清野由美子, 笠井美香子, 井越寿美子, 佐藤富貴子, 川合 功, 坂本 信, 小浦方格, 田邊裕治. 臨床実践能力セルフ・モニタリングプログラムにおける新人看護師のリフレクションの教育的支援. 日本教師学学会, 2013. 3 (秋田).
 51. Miyako Mizutani, Kensaku Kawakami, Mieko Sadakata, Koichi Kobayashi, Makoto Sakamoto : Biomechanical Effects of Push Handle Heights on Upper Limbs during Attendant Propelled Wheelchair Slope Transportation. The8th International Symposium on Advanced Science and Technology in experimental Mechanics. Nov, 3-6. 2013(Sendai)
 52. 水谷 都, 川上健作, 坂本 信, 定方美恵子, 小林公一. 車いすグリップ高さと移送介助者の身体的負担の検討～坂路移送における上肢関節モーメントの解析を通して～. 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013. 12 (大阪).

放射線技術科学専攻

著書および学術論文

1. Ishikawa K, Haneda J, Okamoto K. Decreased vestibular signal intensity on 3D-FIESTA in vestibular schwannomas differentiating from meningiomas. *Neuroradiology* 55(3):261-270, 2013.
2. Ohkubo M, Wada S, Kanai S, Ishikawa K, Marasinghe JC, Matsumoto T. Observer-independent nodule-detectability index for low-dose lung cancer screening CT: a pilot study. *Radiol Phys Technol*.6(2):492-499, 2013.
3. 関谷 勝 (分担執筆及び校正) 医用放射線辞典編集委員会: 医用放射線辞典 第5版, 共立出版, 東京, 2013.4
4. 松田直樹, 関谷 勝, 足利広行, 他3名: 地方病院におけるAiの現状と診療放射線技師の役割, 日本放射

- 線技術学会 東北部会誌第22号, 10-15, 2013.1,
5. 関谷 勝: 診療エックス線技師法が制定されるまでの医療エックス線技術者, 新潟県放射線技師会々報 (78), B11-B16, 2013.4.
 6. 関谷 勝: 診療放射線技師法の変遷, 新潟県放射線技師会々報 (78), B17-B34, 2013.4,
 7. Tsukihara M, Noto Y, Hayakawa T, Saito M: Conversion of the energy-subtracted CT number to electron density based on a single linear relationship: an experimental verification using a clinical dual-source CT scanner. *Phys. Med. Biol.*, 58: N135-N144, 2013.
 8. 高橋直也: Aiって何? - オートプシー・イメージング普及への一里塚. 放射線科医にとってのメリット. 映像情報メディカル. 2013, 2013年4月号別冊,
 9. 高橋直也: 臨床放射線科医にとっての死亡時画像診断のために. 映像情報メディカル. 2014, 46: 70-72
 10. Kayugawa A, Ohkubo M, Wada S: Accurate determination of CT point-spread-function with high precision. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*, 14(4): 216-226, 2013.
 11. 久保田浩平, 高橋俊博, 佐藤貴幸, 渡辺賢一, 張馬梅蕾, 吉田秀義, 松村祐太, 大川紗知, 鈴木 拳, Kuruppagounder V., Thadavarayan R., Lakshmanan A. P., Arumugam S., Pitchaimani V., Sari F., Soetikno V., 笠原裕之, 田沢周作: 標識脂肪酸を用いた心機能改善薬の薬効評価 - 心筋代謝物分析による検討 - 日本薬学会 (第133年会) 要旨集 Vol.2, 325 (2013)
 12. 久保田浩平, 高橋俊博, 佐藤貴幸, 渡辺賢一, 張馬梅蕾, 松村祐太, 大川紗知, 鈴木 拳, Kuruppagounder V., Thadavarayan R., Lakshmanan A. P., Arumugam S., Pitchaimani V., Sari F., Soetikno V., 田沢周作: 心筋脂肪酸代謝物分析による心機能改善薬の薬効評価 第40回新潟核医学懇話会誌, Vol.40, 研究発表 1 (1-5) (2013)
 13. 李鎔範, 吉田悠理子, 蔡篤儀: カメラ画像からの胸部単純X線画像領域の自動検出. 電子情報通信学会論文誌D, vol.J96-D, no.4, pp.901-903, 2013.
 14. 李鎔範: 臨床研究のためのデジタル画像処理の基礎とパソコンソフト活用術. メディカルトリビューン. 東京. 2013.4. 分担執筆: 第2章 コンピュータ支援診断の基礎 4. 特徴量分析に必要な基礎技術 pp.63-71. ISBN: 978-4895894258.
 15. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Takahashi N: Comparison of a discrete wavelet transform method and a modified undecimated discrete wavelet transform method for denoising of mammograms, *Proc. of 34th Annual International Conference of the IEEE EMBS*, pp.3403-3406, Osaka, Japan, 3-7 July, 2013.
 16. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Tsurumaki M, Takahashi N, Watanabe H, Chen HM: A modified undecimated discrete wavelet transform based approach to mammographic image denoising. *Journal of Digital Imaging*, vol.26, pp.748-758, 2013.
 17. Uchiyama M, Lee Y, Sadakata M, Tsai DY, Sayama M: Effects of mammography positioning on the autonomic nervous function. *Health*, vol.5, no.8, pp.1335-1341, 2013.
 18. Takeuchi M, Kobayashi M, Hashimoto S, Mizuno KI, Kawaguchi G, Sasamoto R, Aoyama H, Aoyagi Y. Salvage endoscopic submucosal dissection in patients with local failure after chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma. *Scand J Gastroenterol* 48(9): 1095-1101, 2013
 19. 坂本 信: 応力・ひずみ解析の活動報告と今後の展望. 非破壊検査, 62, 368-373, 2013.
 20. Kobayashi K, Hosseini A, Sakamoto M, Qi W, Rubash HE, Li G: In vivo kinematics of the extensor mechanism of the knee during deep flexion, *J. Biomech. Eng.*, 135, 081002-1, 2013.
 21. Mochizuki T, Sato T, Tanifuji O, Kobayashi K, Koga Y, Yamagiwa H, Omori G, Endo N: In vivo pre- and postoperative three-dimensional knee kinematics in unicompartmental knee arthroplasty, *J. Orthop. Sci.*, 18(1), 54-60, 2013.

学会発表および研究会発表

1. 羽根田淳, 石川和宏, 岡本浩一郎, 佐藤敏輝: 造影3D-MRIにおける正常顔面神経の信号強度の検討 1.5Tと3Tとの対比. 第42回日本神経放射線学会 2013.2.15-2.16 (北九州).
2. 金沢 勉, 内藤健一, 斎藤宏明, 岩崎友也, 石川和宏, 木村元政: 3Tにおける3D-constructive interference in steady state(CISS)法を用いた滑車神経描出の検討. 第69回日本放射線技術学会総会学術大会 2013.4.11-14 (横浜).
3. Haneda J, Ishikawa K, Okamoto K, Sato. T. Signal Intensity of Normal Facial Nerves on Post-Contrast T1-Weighted Images at 3T: Comparison of 2D and 3D Pulse Sequences. 51st ASNR Annual Meeting, 2013.5.18-23 (San Diego, USA).
4. 石川和宏, 羽根田淳, 岡本浩一郎, 木村元政: 聴神経鞘腫における3D-FIESTA での患側前庭の信号強度変化 - 組織学的非確定診断例に対する検討 -. 第49回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2013.10.12-14 (名古屋).
5. 石川和宏, 宮澤祐馬, 羽根田淳, 金沢 勉, 大久保真樹, 木村元政: Double Inversion Recovery 法における無名質の描出能に関する検討. 第49回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2013.10.12-14 (名古屋).
6. 石川和宏, 中山美紀, 羽根田淳, 金沢 勉, 大久保真樹, 木村元政: 水頭症の程度による第三脳室底とLiliequist membraneの位置関係の変化に関する検討. 第49回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2013.10.12-14 (名古屋).
7. 羽根田淳, 佐藤敏輝, 石川和宏, 大久保真樹, 金沢 勉, 岡本浩一郎: 3D-FLASHにおける側頭骨内顔面神経の描出能に関する検討. 第68回新潟画像医学研究会, 2013.11.2 (新潟)
8. 野島佑太, 金沢 勉, 斎藤宏明, 関谷 勝, 他2名: 非造影MRAにおける血流速の違いによる血管描出脳評価, 第69回日本放射線技術学会, (横浜). 2013.4.
9. 足利広行, 関谷 勝, 他: Dual Energy CTによる椎体固定術後CT撮影の検討, 第69回日本放射線技術学会, (横浜). 2013.4.
10. 李鎔範, 蔡篤儀, 本永みなみ, 早川岳英, 笠原敏文, 笹本龍太, 関谷 勝: 呼吸性移動対策のための動画像解析による呼吸モニタリング, 第166回医用画像情報学会, (福岡), 2013.6.1
11. 野島佑太, 金沢 勉, 斎藤宏明, 関谷 勝, 他2名: 心電図同期3D-TSEによる非造影MRAでの鎖骨下動脈描出に関する検討, 第三回東北医療技術学術大会 (福島), 2013.11. 日本放射線技術学会 東北部会雑誌 第23号, 220-221, 2014.1
12. Tsukihara M, Noto Y, Hayakawa T, Saito M: Study of conversion of energy subtracted CT number to electron density using dual energy CT. 日本医学物理学会第105回学術大会 (横浜) 2013.4.11.
13. 月原正喜, 能登義幸, 早川岳英, 齋藤正敏: Dual energy CTを用いたエネルギー差分CT値 - 電子密度変換法の検討. 第128回日本医学放射線学会北日本地方会 (新潟) 2013.6.14.
14. 高橋直也, 樋口健史, 木口貴雄, 広瀬保夫: 河川・湖沼・海で発見された水中死体の死亡時CT所見. 第72回日本医学放射線学会総会, 2013.4.11-13 (横浜)
15. 佐藤辰彦, 中川範人, 森田哲郎, 清野康夫, 高橋直也: 当院におけるAi (死亡時画像診断) の現状, 第113回新潟臨床放射線学会, 2013.12.14 (新潟)
16. 高橋千春, 成田信浩, 吉田秀義: IVR装置の出力線量管理に関する測定 第41回日本放射線技術学会秋季学術大会 (福岡) 2013.10
17. Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Murao K, Matsumoto T, Niizuma S, Sone S, Wada S: Nodule detection by lung CT CAD: analysis by PSF-based image simulation with verification. Conference on Sri Lanka - Japan Collaborative Research 2013(SLJCR-2013), 2013.3.29-31 (Sri Lanka).
18. Sivarajah S, Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Gohdo M, Wada S: Dependency of CT CAD performance on the distance between nodule and pulmonary vessel: a study by using virtual nodules. Conference on Sri Lanka - Japan Collaborative Research 2013(SLJCR-2013), 2013.3.29-31 (Sri Lanka).

19. 小林 元, Marasinghe J C, 和田真一, 大久保真樹, 村尾晃平, 松本 徹, 曾根脩輔: CT装置の空間分解能に基づいた virtual nodule の生成および胸部 CT 検診 CAD の性能評価への応用: ファントム模擬結節との比較による検証. 第128回日本医学放射線学会 北日本地方会, 第73回日本核医学会 北日本地方会, 2013.6.14 (新潟).
20. Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Murao K, Matsumoto T, Sone S, Wada S: Evaluation of lung CT CAD performance by using PSF-based virtual nodules: a validation of the methodology. The International Conference on Medical Physics 2013(ICMP 2013), 2013.09.01-04 (UK).
21. 小林 元, 大久保真樹, Marasinghe Janaka C., 村尾晃平, 松本 徹, 曾根脩輔, 和田真一: PSF-based virtual nodule を用いた胸部CT 検診CAD 性能評価法の研究: ファントム模擬結節との比較による検証. 第106回日本医学物理学会学術大会, 2013.09.16-18 (大阪), 日本医学物理学会機関誌, 33(Sup.3): 81, 2013.
22. 大野 健, 内藤健一, 羽田野政義, 能登聖美, 大久保真樹, 小田野行男: 心臓肝臓ファントムを用いた二機種のカンマカメラにおける123I-MIBG H/M比の補正. 日本核医学技術学会 第19回東北地方会, 2013.9.28-29 (郡山)
23. 石川和宏, 中山美紀, 羽根田淳, 金沢 勉, 大久保真樹, 木村元政: 水頭症の程度による第三脳室底と Lilliequist membrane の位置関係の変化に関する検討. 第49回日本医学放射線学会秋季大会, 2013.10.12-14 (名古屋), 日本医学放射線学会第49回秋季臨床大会抄録集, S533-S534, 2013.
24. 石川和宏, 宮澤祐馬, 羽根田淳, 金沢 勉, 大久保真樹, 木村元政: Double Inversion Recovery法における無名質の描出能に関する検討. 第49回日本医学放射線学会秋季大会2013.10.12-14 (名古屋), 日本医学放射線学会第49回秋季臨床大会抄録集, S533, 2013.
25. 羽根田淳, 石川和宏, 大久保真樹, 金沢 勉, 佐藤敏輝, 岡本浩一郎: 3D-FLASHにおける側頭骨内顔面神経の描出能に関する検討. 新潟画像医学研究会, 2013.11.2 (新潟).
26. 大野 健, 内藤健一, 羽田野政義, 能登聖美, 大久保真樹, 小田野行男: 123I-MIBG H/M比算出を目的とした再現性の高い新しい心筋カウント値計測法. 日本放射線技術学会東北部会第51回学術大会, 2013.11.02-03 (福島), 日本放射線技術学会東北部会雑誌, 23: 163, 2013.
27. 松本 徹, 菊池賢一, 村尾晃平, 和田真一: 1.0健診データの分析法に関する研究. 第20回日本CT検診学会学術集会, 2013.2.15-16 秋葉原コンベンションホール, CT検診, Vol.20, No.1, 25, 2013.
28. 内山美枝子, 李鎔範, 蔡篤儀, 風間清子, 皆川靖子: マンモグラフィポジショニングが身体筋活動と苦痛に及ぼす影響. 日本放射線技術学会第69回総合学術大会, 2013.4.11-14 (横浜). (学生賞受賞)
29. 室井僚哉, 李鎔範, 蔡篤儀, 弦巻正樹: X線画像における不鋭領域の自動検出. 日本放射線技術学会第69回総合学術大会, 2013.4.11-14 (横浜). (学生賞受賞)
30. 遠藤 駿, 李鎔範, 蔡篤儀: MTFフラクタル次元によるX線画像の画質の定量的評価. 日本放射線技術学会第69回総合学術大会, 2013.4.11-14 (横浜).
31. 李鎔範, 内山美枝子, 蔡篤儀, 畑 早苗: ユーモア映像刺激がマンモグラフィ被検者の身体負荷に与える影響. 医用画像情報学会平成25年度年次 (第166回) 大会, 2013.6.1 (福岡).
32. 内山美枝子, 李鎔範, 定方美恵子, 蔡篤儀, 佐山光子: マンモグラフィ撮影ポジショニングが自律神経機能に及ぼす影響. 医用画像情報学会平成25年度年次 (第166回) 大会, 2013.6.1 (福岡).
33. 李鎔範: CIRCUS CSプラグイン開発実例: 急性期脳梗塞のearly CT signs 検出能改善のためのadaptive partial median filter. 第5回次世代コンピュータ支援診断ソフトウェア臨床使用・評価プラットフォーム研究会, 2013.6.16 (東京).
34. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Takahashi N: Comparison of a discrete wavelet transform method and a modified undecimated discrete wavelet transform method for denoising of mammograms. 34th Annual International Conference of the IEEE EMBS, Osaka, Japan, July 3-7, 2013.
35. 松山江里, 蔡篤儀, 李鎔範, 高橋規之: Wavelet変換を用いたマンモグラフィにおけるノイズ除去手法の性能比較. 第32回日本医用画像工学会, 2013.8.1-3 (東京).
36. 高橋規之, 李鎔範, 蔡篤儀, 木下俊文: 頭部CT画像における側脳室下角の容積測定法の開発. 第41回日

本放射線技術学会秋季学術大会, 2013.10-17-19 (福岡).

37. Takahashi N, Lee Y, Tsai DY, Matsuyama E, Kinoshita T, Omura T, Ishii K: Alzheimer's Disease: Can Z-score Mapping Quantify Temporal Horn Volume of Lateral Ventricle on CT Images?. 99th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America (RSNA2014), Chicago, USA, December 1-6, 2013.
38. Sakamoto M, Kobayashi K: The contact analysis of joint using the axisymmetric mechanical model. The 7th Asian Pacific Conference on Biomechanics, POS9_006, 2013, Seoul.
39. Mizutani M, Kawakami K, Sadakata M, Kobayashi K, Sakamoto M: Biomechanical effects of push handle heights on upper limbs during attendant propelled wheelchair slope transportation. 8th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics, 37, 2013, Sendai
40. 近藤達也, 坂本 信, 吉田秀義, 小林公一: MRIを用いた膝屈曲に伴う膝関節運動と後十字靭帯長さの生体内解析. 第25回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 291-292, 2013, つくば.
41. 坂本 信, 小林公一: 力学モデルを用いた関節の接触解析. 日本非破壊検査協会第44回応力・ひずみ測定シンポジウム, 1-6, 2013, 東京.
42. 坂本 信, 田邊裕治, 定方美恵子, 笠井美香子, 井越寿美子: 看護工学分野の開発と教育. 平成25年度日本工学教育研究講演会, 262-263, 2013, 新潟.
43. 田邊裕治, プラムディタ・ジョナス・アディティヤ, 坂本 信, 小林公一, 大森 豪, 古賀良生: 医工連携研究における工学教育の実践と課題. 平成25年度日本工学教育研究講演会, 164-165, 2013, 新潟.
44. 古賀 寛, 小林公一, 坂本 信, 古賀良生, 湊 泉, 解 晨, 田邊裕治, 大森 豪, 中部 昇, 落合清秀: 形状モデル不使用人工股関節術前計画・手術操作支援法の開発. 第7回日本Computer Assisted Orthopaedic Surgery研究会, 2013, 愛媛.
45. 春日勇人, 坂井幸子, 近藤達也, 坂本 信, 小林公一, 遠藤英昭: マイクロCTを用いたヒト象牙質のミネラル密度の評価. 日本実験力学会2013年度年次講演会, 317-321, 2013, 由利本荘.
46. 坂本 信, 小林公一, 大森 豪, 田邊裕治: 関節を対象とした力学モデルによる弾性接触問題. 日本実験力学会The 12th Conference on Biomechanics in Sendai, 32-36, 2013, 大阪.
47. 佐藤 光, 田邊裕治, 菊池達哉, 坂本 信, 小林公一: 近赤外分光法によるヒト関節軟骨の含水率の測定ーゼラチンモデルによる拡散反射法の有効性の検討ー. 日本実験力学会2013年度年次講演会, 337-342, 2013, 由利本荘.
48. 川合 功, 坂本 信, 定方美恵子, 西方真弓, 小林公一, 小浦方格, 笠井美香子, 井越寿美子, 佐藤富貴子, 西原亜矢子, 田邊裕治: 看護師の臨床経験が眼球運動に及ぼす影響. 日本機械学会2013年度年次大会, J024024, 2013, 岡山.
49. 坂本 信, 小林公一: 関節の弾性接触に対する理論解. 日本機械学会2013年度年次大会, J024044, 2013, 岡山.
50. 春日勇人, 坂井幸子, 小林公一, 遠藤英昭, 坂本 信: マイクロCTを用いた三次元歯軸の評価. 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 142, 2013, 神戸.
51. 坂本 信, 小林公一: 解析モデルによる関節の接触応力解析. 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 164, 2013, 神戸.
52. 本江香澄, 佐藤 卓, 児玉 陸, 坂本 信, 田邊裕治: 3D-3DイメージマッピングによるTKA設置評価法. 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 96, 2013, 神戸.
53. 水谷 都, 川上健作, 坂本 信, 定方美恵子, 小林公一: 車いすグリップ高さと移送介助者の身体的負担の検討ー坂路移送における上肢関節モーメントの解析を通して. 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013, 大阪
54. 棚辺博亮, 長谷川晃, 満間啓二: Normalized mean squared errorを用いた逐次近似再構成のFOV依存性の評価. 第5回北陸3県合同放射線技師会学術研修会. 2013.3.10 (富山)
55. 長谷川晃, 森岡祐輔, 森内裕二, 土田勇太郎, 加藤 将: 64列以上のMDCTにおける心臓CT撮影での信号対雑音特性による画質比較. 第5回北陸3県合同放射線技師会学術研修会. 2013.3.10 (富山)

56. 長谷川晃, 満間啓二, 森岡祐輔, 荒幡純貴, 市川勝弘: High definition型検出器と従来型検出器における心臓CT撮影での心臓対雑音比による画質比較. 第41回日本放射線技術学会秋季学術大会2013.10.17-19(福岡)
57. Kobayashi K, Sakamoto M, Tanabe T: Validation of Image Registration Technique for Estimating Tibiofemoral Contact Behavior in Vivo, The 7th Asian Pacific Conference on Biomechanics, ORS9_003, 2013, Seoul.
58. 小林公一, 坂本 信, Guoan Li: 膝蓋骨トラッキングの生体内測定と有限要素法による膝蓋大腿関節の接触解析. 第25回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 293-294, 2013, つくば.
59. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: 骨・軟骨形状モデルの膝関節の接触評価法. 日本非破壊検査協会第44回応力・ひずみ測定シンポジウム, 7-10, 2013, 東京
60. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: MRIボリュームデータのレンダリングによる膝関節の空間位置評価, 日本実験力学学会2013年度年次講演会, 331-333, 2013, 由利本荘.
61. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: MRIボリュームデータのレンダリングによる膝関節の3次元位置推定, 日本機械学会2013年度年次大会, J024055, 2013, 岡山.
62. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: 2次元X線画像と3次元MRIデータによる関節運動解析法, 日本非破壊検査協会応力・ひずみ測定部門講演会, 15-19頁, 2013, 金沢.
63. 佐藤 卓, 小林公一, 渡辺 聡, 谷藤 理, 大森 豪, 古賀良生: 人工膝関節のアライメント(静的・動的アライメント評価), 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 66頁, 2013, 神戸.
64. 春日勇人, 坂井幸子, 小林公一, 遠藤英昭, 坂本 信: マイクロCTを用いた三次元歯軸の評価, 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 142頁, 2013, 神戸.
65. 小林公一, 坂本 信, 佐藤 卓, 大森 豪, 古賀良生: MRIボリュームデータのレンダリングによる膝関節キネマティクス測定, 第40回日本臨床バイオメカニクス学会, 161頁, 2013, 神戸.
66. 押部千沙都, 川田 理, 岩城 唯, 村山智美, 山崎芳裕, 田村博文, 田村厚司, 押野見拓哉: Astonish法を用いた画像再構成法の基礎的検討. 日本核医学技術学会第19回東北地方会総会学術大会, 2013.09.29, 郡山.

検査技術科学専攻

著書および学術論文

1. 岩渕三哉: 消化管の内分泌細胞腫瘍/神経内分泌腫瘍の分類と名称. 専門医のための消化器病学 第2版. 小侯政男, 千葉 勉(監) 下瀬川徹, 渡辺 守, 木下芳一, 金子周一, 檜田博史(編), 東京, 医学書院, 2013:135-139, 全686ページ.
2. 本間陽奈, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: AFP産生胃癌充実部の組織細胞形態の特徴 - 胃内分泌細胞癌との比較 -. 新潟大学医学部保健学科紀要. 2013;10(3):47-55.
3. 本間陽奈, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: AFP産生胃癌と共存腺癌の胃腸型性質とAFP発現の特徴. 新潟大学医学部保健学科紀要. 2013;10(3):57-64.
4. 山貝 悠, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈: 大腸の低分化腺癌充実型の胃腸型性質と細胞接着因子の特徴. 新潟大学医学部保健学科紀要. 2013;10(3):65-72.
5. 岩渕三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈, 山貝 悠, 小菅優子, 田中雄也, 須貝美佳: 消化管内分泌細胞腫瘍の日本の分類と2010年WHO分類との対比. 胃と腸. 2013;48(7):941-955.
6. 岩渕三哉, 多田美智子, 本間陽奈, 小菅優子, 田中雄也, 渡辺 徹: 消化管内分泌細胞腫瘍(カルチノイド腫瘍) - 回腸多発性カルチノイド腫瘍2症例の病理学的検討. 胃と腸. 2013;48(10):1393-1408.
7. Ichikawa K., Fujimori T., Moriya T., Ochiai A., Yoshinaga S., Kushima R., Nagahama R., Ohkura Y., Tanaka S., Ajioka Y., Hirata I., Tanaka M., Hoshihara Y., Kinoshita Y., Sasano H., Iwashita A., Tomita S., Hirota S., Yao T., Fujii S., Matsuda T., Ueno H., Ishikawa Y., Takubo K., Fukushima N., Sugai T., Iwafuchi M., Imura J., Manabe T.,

- Fukayama M. : Digestive Disease Management in Japan: A Report on The 6th Diagnostic Pathology Summer Fest in 2012. *Digestion* 2013;88:153-160 (DOI: 10.1159/000355330)
8. 本間陽奈, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: 十二指腸乳頭部の腺内分泌細胞癌の1例. 第8回NET Work Japan症例集. 2013;33.
 9. Watthanakulpanich D, Pongvongsa T, Sanguankiat S, Nuamtanong S, Maipanich W, Yoonuan T, Phuphisut O, Boupha B, Moji K, Sato M, Waikagul J. Prevalence and clinical aspects of human *Trichostrongylus colubriformis* infection in Lao PDR., *Acta Tropica*, Vol.126, No.1, pp.37-42 (2013)
 10. Aizawa Y, Takatsuki S, Kimura T, Nishiyama N, Fukumoto K, Tanimoto Y, Tanimoto K, Miyoshi S, Suzuki M, Yokoyama Y, Chinushi M, Watanabe I, Ogawa S, Aizawa Y, Antzelevitch C, Fukuda K. Ventricular fibrillation associated with complete right bundle branch block. *Heart Rhythm*. 2013 Jul;10(7):1028-35.
 11. Chinushi M. Amiodarone-related sinus node dysfunction and its implications in the treatment of atrial fibrillation *Circ J*. 2013;77(9):2240-1.
 12. Inoue H, Okumura K, Atarashi H, Yamashita T, Origasa H, Kumagai N, Sakurai M, Kawamura Y, Kubota I, Matsumoto K, Kaneko Y, Ogawa S, Aizawa Y, Chinushi M, Kodama I, Watanabe E, Koretsune Y, Okuyama Y, Shimizu A, Igawa O, Bando S, Fukatani M, Saikawa T, Chishaki A. J-Rhythm Registry Investigators. Target international normalized ratio values for preventing thromboembolic and hemorrhagic events in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation: results of the J-RHYTHM Registry. *Circ J*. 2013;77(9):2264-70.
 13. Aizawa Y, Chinushi M, Hasegawa K, Naiki N, Horie M, Kaneko Y, Kurabayashi M, Ito S, Imaizumi T, Aizawa Y, Takatsuki S, Joo K, Sato M, Ebe K, Hosaka Y, Haissaguerre M, Fukuda K. Electrical storm in idiopathic ventricular fibrillation is associated with early repolarization. *J Am Coll Cardiol*. 2013 Sep 10;62(11):1015-9.
 14. Chinushi M, Sato A. Arrhythmia and genetic background. *Rinsho Byori*. 2013 Feb;61(2):150-8.
 15. Chinushi M, Iijima K, Sato A, Furushima H. Short-coupling premature ventricular complexes from the left ventricle triggered isoproterenol-resistant electrical storm in a patient with Brugada syndrome. *Heart Rhythm* 2013 Jun;10(6):916-20.
 16. Sato A, Chinushi M, Izumi D, Furushima H, Minamino T. Malfunction of cardiac resynchronization therapy due to subsequent fracture of the ring and tip conductors of a co-radial left ventricular bipolar lead. *Intern Med*. 2013;52(11):1189-93
 17. Chinushi M, Izumi D, Iijima K, Suzuki K, Furushima H, Saitoh O, Furuta Y, Aizawa Y, Iwafuchi M. Blood pressure and autonomic responses to electrical stimulation of the renal arterial nerves before and after ablation of the renal artery. *Hypertension*. 2013 Feb;61(2):450-6.
 18. Ogawa S, Aizawa Y, Aonuma K, Hirai M, Iesaka Y, Inoue H, Ishikawa T, Kamakura S, Kato T, Kobayashi Y, Kosakai Y, Kumagai K, Kurita T, Nakazato Y, Okumura K, Shoda M, Sugi K, Sumitomo N, Takatsuki S, Takayanagi K, Watanabe I, Chinushi M, Fujiki A, Iwasa A, Kobayashi Y, Kuga K, Nagase S, Ohnishi S, Satomi K, Tanno K, Yasuda M, Daida H, Hiejima K, Kasanuki H, Misaki T, Ohe T. Guidelines for clinical cardiac electrophysiologic studies. *Circ J*. 2013;77(2):497-518.
 19. Chinushi M. Ventricular repolarization gradient and ECG characteristics of Tako-Tsubo cardiomyopathy. *Heart Rhythm* 2013 Jan;10(1):78-9.
 20. 佐藤光希, 園田桂子, 飯嶋賢一, 八木原伸江, 和泉大輔, 渡部 裕, 古嶋博司, 南野 徹, 阿部 晃, 池主雅臣. 右室流出路起源の期外収縮をトリガーとする多形性心室頻拍が見られた潜在性type2 QT延長症候群の1例. *心臓*2013 ; 45 : 135
 21. 田川 実, 高橋一也, 中村裕一, 渡邊雅貴, 落合幸江, 高田琢磨, 目黒 昌, 池主雅臣, 小玉 誠, 相澤義房. 経皮の心肺補助法 (PCPS) 合併症を含めた全身管理に苦慮した劇症型心筋炎の1例. *心臓* 2013 ; 45 : 1016-1023
 22. 池主雅臣. 心臓突然死. 監修: 永井良三. 今日の臨床サポート. 永井良三, 福井次矢, 木村健二郎, 上村直実, 桑島 巖, 今井 靖, 嶋田 元, 編. エルゼビア・ジャパン, 2013 (ウェブサイト: <http://>

clinicalsup.jp/jpoc/)

23. 古嶋博司, 池主雅臣, 佐藤光希, 長谷川奏恵, 園田桂子, 八木原伸江, 飯嶋賢一, 和泉大輔, 渡部 裕, 相澤義房. Radiofrequency Catheter Ablation to Macroreentry Ventricular Tachycardia Circulating around Tricuspid Valve in a Patient with Arrhythmogenic Right Ventricular Tachycardia. 臨床電気生理2013;36:285-293
24. 池主雅臣, 古嶋博司, 和泉大輔, 飯嶋賢一, 渡部 裕, 佐藤光希, 相澤義房. 失神・突然死の診断. 侵襲的診断の利点と欠点. 心電図2013 ; 33 : S2-39
25. 池主雅臣. 不整脈概論. 専門医になるためのエッセンシャルブック. 心室性期外収縮. P332-339. 池田隆徳・山下武志 編集. 株式会社 メジカルビュー社 2013年2月1日発行
26. 池主雅臣, 齊藤 修. レジデントノート. 心電図の読み方トレーニング. 臨床問題で腕試し!心電図トレーニング. P95-106 森田 宏・伊藤 浩 編集. 羊土社 2013年4月1日発行
27. 池主雅臣, 和泉大輔, 古嶋博司, 相澤義房. 循環器薬物治療実践シリーズVI. ペプリジルの基礎と臨床. 上手に使うコツ. 日本心電学会学術諮問委員会編. 井上 博, 小野克重, 中谷晴昭, 平岡昌和. 編集. 心室性不整脈に対する効果. P87-98 株式会社ライフメディコム発行 2013年3月18日
28. 池主雅臣. あなたらなどう動く?不整脈診療のQ and A. 現在の非薬物療法. P750-758救急・集中治療. 村川裕二編集. 総合医学社2013年6月21日発行
29. Sato Y, Tomiyama C, Yamamoto S, Oya S, Kobayashi T, Kokai H, Miura K, Hirose Y, Hatakeyama K. Perioperative immunological differentiation in liver cirrhotic patients who underwent living related liver transplantation. *Hepatogastroenterol*, 60:666-668, 2013.
30. Ma Z, Liu Y, Zhou X, Yu HL, Li MQ, Tomiyama-Miyaji C, Abo T, Bai XF. Research on stress-induced apoptosis of natural killer cells and the alternation of their killing activity in mouse liver. *World J of Gastroenterol*. 19:6258-6264, 2013.
31. Watanabe M, Takano O, Tomiyama C, Guan J, Hou G, Mori H, Nishijo K, Abo T, Akazawa K. The effects of application of an ancient type of acupuncture needle on increase in urination of hospitalized oldest-old people. *Health*, 5:1092-1098, 2013.
32. Watanabe M, Ling Y, Tomiyama C, Adachi K, Mori H, Nishijo K, Abo T, Akazawa K. Can the early bird catch the worm? Effects of early rising on leukocyte subsets via modification of autonomic nervous system and the effect on glucose levels. *Nat Sci*, 5:1133-1138, 2013.
33. 安保徹(著), 渡邊まゆみ(翻訳), 富山智香子(翻訳). 安保徹の原著論文を読む. 三和書籍, ISBN: 978-4862511478, 2013.
34. Kuroda T, Wada Y, Nakano M: Diagnosis-related amyloidosis with rheumatoid arthritis: state of art (edited by Dali Feng) *Amyloidosis (InTech/Croatia)*: 187-212, 2013
35. Wada Y, Saeki T, Yoshita K, Ayalon R, Kamimura K, Nakano M, Narita I: Development of IgG4-related disease in a patient diagnosed with idiopathic membranous nephropathy. *Clinical Kidney Journal* 6(5): 486-490, 2013
36. Wada Y, Kojima M, Yoshita K, Yamazaki M, Kobayashi D, Murakami S, Nishi S, Nakano M, Narita I: A case of Epstein-Barr virus-related lymphadenopathy mimicking the clinical features of IgG4-related disease. *Modern Rheumatology* 23(3): 597-603, 2013
37. Kuroda T, Tanabe N, Sato H, Nakatsue T, Wada Y, Murakami S, Nakano M, Narita I: Distribution of amyloid deposits in the kidneys of a patient with reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis. *BMC Research Notes* 6: 231-235, 2013
38. Sato H, Ito S, Nagai S, Murasawa A, Wada Y, Murakami S, Kuroda T, Nakano M, Narita I: Atypical severe central serous chorioretinopathy in a patient with systemic lupus erythematosus improved with a rapid reduction in glucocorticoid. *Modern Rheumatology* 23(1): 172-174, 2013
39. 和田庸子, 中野正明, 成田一衛: 最新の研究トピックスーAP-VAS2012から 血管炎の臨床研究 血清アンギオポエチン-2値とANCA関連血管炎の活動性,腎機能 (Serum angiopoietin-2 level reflects the disease activity and renal function in ANCA-associated vasculitis). *日本臨床* 71 Suppl 1 : 526-529, 2013

40. 黒田 毅, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, **中野正明**, 成田一衛: 関節リウマチにより反応性アミロイドーシスを合併した1剖検例における腎組織へのアミロイド沈着の検討. 中部リウマチ 43(1): 56-58, 2013
41. Uchiyama T, Satoh N, **Narita M**, Yamahira A, Iwabuchi M, Furukawa T, Sone H, **Takahashi M**. Direct effect of dasatinib on proliferation and cytotoxicity of natural killer cells in in vitro study. Hematol Oncol.31(3):156-63, 2013
42. Watanabe N, **Narita M**, Saito A, Yamahira A, Taniguchi T, Furukawa T, Yoshida T, Miyazawa T, Nashimoto M, **Takahashi M**. Induction of apoptosis of leukemic cells by TRUE gene silencing using small guide RNAs targeting the WT1 mRNA. Leuk Res. 37(5):580-5, 2013
43. **Takahashi M**, Elbarbary RA, Nakashima A, Abe M, Watanabe N, **Narita M**, **Takahashi M**, Tamura M, Yoshida T, Nashimoto M naked RNA heptamer targeting the human Bcl-2 mRNA induces apoptosis of HL60 leukemia cells. Cancer Letters. 328(2):362-8, 2013;
44. 内山孝由, **成田美和子**, 宮山和樹, 大岩恵理, 山平晶江, 岩渕 南, 佐藤直哉, **高橋益廣** 抗原特異的細胞傷害性T細胞(CTL)の誘 CTLのメモリーT細胞サブセットの解析. 新潟大学医学部保健学科紀要 10(3), 19-28, 2013.
45. 岩渕 南, **成田美和子**, 大岩恵理, 山平晶恵, 佐藤直哉, 内山孝由, 橋本誠雄, Aude Bonehill, Emmanuelle Faure-Kumar, Brooke Bogan, Noriyuki Kasahara, **高橋益廣** レンチウイルスベクターを用いた caTLR4 遺伝子導入による白血病性形質細胞様樹状細胞株(PMDC11)における抗原特異的CTL 誘導能の増強. 新潟大学医学部保健学科紀要 10(3), 29-37, 2013.
46. 佐藤直哉, **成田美和子**, 内山孝由, 山平晶恵, 岩淵 南, **高橋益廣** ダサチニブのNK細胞の増殖と機能に対する影響. 新潟大学医学部保健学科紀要 10(3), 39-46, 2013.
47. **Nozaki H**, Nishizawa M, Onodera O. Hereditary cerebral small vessel disease. Nihon Rinsho 71(3):545-554,2013
48. **Matsuda Y**, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Fujimaki S. Sorafenib-Inhibited Signaling: Emerging Evidence of RAF Independent Pathways as Potential Therapeutic Targets in Hepatocellular Carcinoma. "Hepatocellular Carcinoma - Future Outlook" edited by Ahmed O. Kaseb, ISBN 978-953-51-1202-0, InTech publisher, October 10, 2013
49. **Fujimaki S**, **Matsuda Y**, Wakai T, Sanpei A, Kubota M, Takamura M, Yamagiwa S, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y. Blockade of ataxia telangiectasia mutated sensitizes hepatoma cell lines to sorafenib by interfering with Akt signaling. Cancer Lett 319(1):98-108, 2012
50. **Takahashi T**, Miura T, Nakamura J, Yamada S, Miura T, Yanagi M, **Matsuda Y**, Usuda H, Emura I, Tsuneyama K, He XS, Gershwin ME. Plasma cells and the chronic nonsuppurative destructive cholangitis of primary biliary cirrhosis. Hepatology 55(3):846-855, 2012
51. Kamimura H, Yamagiwa S, Tsuchiya A, Takamura M, **Matsuda Y**, Ohkoshi S, Inoue M, Wakai T, Shirai Y, Nomoto M, Aoyagi Y. Reduced NKG2D ligand expression in hepatocellular carcinoma correlates with early recurrence. J Hepatol 56(2):381-388, 2012
52. Kubota M, **Matsuda Y**, **Fujimaki S**, Osawa M, Wakai T, Nakaya K. Effects of rapamycin on granulation formation in response to centrally doubled coiled stents as a tracheal substitute. J Pediatr Surg 48(12):2416-2424, 2013
53. **Matsuda Y**, Wakai T, Hirose Y, Osawa M, **Fujimaki S**, Kubota M. p27 Is a Critical Prognostic Biomarker in Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma. Int J Mol Sci 14(12):23499-23515, 2013
54. Yano M, Ohkoshi S, Aoki YH, **Takahashi H**, Kurita S, Yamazaki K, Suzuki K, Yamagiwa S, Sanpei A, **Fujimaki S**, Wakai T, Kudo SE, **Matsuda Y**, Aoyagi Y. Hepatitis B virus X induces cell proliferation in the hepatocarcinogenesis via up-regulation of cytoplasmic p21 expression. Liver Int 33(8):1218-1229, 2013
55. Sato M, **Matsuda Y**, Wakai T, Kubota M, Osawa M, **Fujimaki S**, Sanpei A, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y. P21-activated kinase-2 is a critical mediator of transforming growth factor-beta-induced hepatoma cell migration. J Gastroenterol Hepatol 28(6):1047-1055, 2013
56. Ohashi T, Wakai T, Kubota M, **Matsuda Y**, Arai Y, Ohyama T, Nakaya K, Okuyama N, Sakata J, Shirai Y, Ajioka Y. Risk of subsequent biliary malignancy in patients undergoing cyst excision for congenital choledochal cysts. J Gastroenterol Hepatol 28(2): 243-247, 2013

57. Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y, Sanpei A, Fujimaki S. DNA Damage Sensor γ -H2AX is increased in preneoplastic lesions of hepatocellular carcinoma. *Sci World J* 2013;597095:1-7, 2013

学会発表および研究会発表

1. 本間陽奈, 岩瀨三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: AFP産生胃癌の組織発生—胃腸型性質、AFP発現の特徴からみて. 第9回日本消化管学会総会学術集会. 2013.1.25-26. (東京) [同抄録集 2013;262]
2. 山貝 悠, 岩瀨三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈: 大腸の低分化腺癌充実型の胃腸型性質、細胞接着因子、EGFR発現. 第9回日本消化管学会総会学術集会. 2013.1.25-26. (東京) [同抄録集 2013;262]
3. 本間陽奈, 岩瀨三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: 十二指腸乳頭部の腺内分泌細胞癌の1例. 第8回NET Work Japan. 2013.2.23. (大阪) [同プログラム・抄録集 2013;43]
4. G.K.M. Godakumara, M.P.S. Mudalige, Shigeki Hirano and Mitsuya Iwafuchi: Comparison of different histochemical staining techniques [Hematoxylin and Eosin [H&E], Toluidine Blue, Modified Giemsa and Immunohistochemical for the diagnosis of *Helicobacter pylori* infection. Conference on Sri Lanka Japan collaborative research 2013. 2013. 3. 29-31 (University of Peradeniya, Sri Lanka)
5. 田中雄也, 岩瀨三哉, 本間陽奈, 山貝 悠: 胃の管状腺癌、内分泌細胞癌におけるmTOR発現の特徴. 第102回日本病理学会総会.2013.6.6-8(札幌). [日本病理学会会誌 2013;102(1):385]
6. 岩瀨三哉, 田中雄也, 小菅優子, 渡辺 徹: 消化管内分泌細胞腫瘍の日本の分類と2010年WHO分類の対比. 第1回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会.2013.9.28(京都). [同プログラム・抄録集 2013;30]
7. 田中雄也, 岩瀨三哉, 小菅優子, 本間陽奈, 渡辺 徹: 胆嚢カルチノイドの1例. 第17回日本内分泌病理学会学術総会.2013.10.4-5(横浜). [同プログラム・抄録集 2013;80] [日本内分泌学会雑誌 89(2): 809-809, 2013]
8. 木戸知紀, 伏木麻恵, 中野雅人, 島田能史, 亀山仁史, 野上 仁, 若井俊文, 岩瀨三哉: 同一病巣内にカルチノイドと腺癌の両者の成分を認めた直腸腫瘍の1例. 第275回新潟外科集談会. 2013.5.11 (新潟) [新潟医誌 128(7)338, 2014]
9. 川合 覚, サトウ恵, 林 尚子, 前野芳正, リチャードカレトン, 中澤秀介: 実験的*Plasmodium knowlesi* 感染サル血液, 尿および糞便中に含まれる原虫DNA断片の消長. 第82回日本寄生虫学会大会. 2013.03.29-31.(東京)
10. 山川美沙紀, 徳永直樹, 渡辺芳明, 長谷川剛, サトウ恵, 尾山徳秀: ヒト眼結膜寄生虫症の1例. 県立病院臨床検査技師業務研修会. 2013.9 (新潟)
11. Megumi Sato, Tiengkham Pongvongsa, Surapol Sanguankiat, Tipparayat Yoonuan, Jun Kobayashi, Bounngong Boupaha, Futoshi Nishimoto, Kazuhiko Moji, Marcello Otake Sato, Jitra Waikagul. Distribution patterns of *Opisthorchis viverrini* and *Haplorchis taichui* infections in two villages of Savannakhet Province, Lao PDR. The 7th National health Research Forum. 2013.10.15-16. (Vientiane, Laos)
12. Megumi Sato. *Plasmodium knowlesi* DNA detection in fecal samples. The 4th International Symposium on Human and Monkey Malaria in Vietnam 2013.11.26-27 (長崎)
13. Megumi Sato, Tiengkham Pongvongsa, Surapol Sanguankiat, Tipparayat Yoonuan, Jun Kobayashi, Bounngong Boupaha, Futoshi Nishimoto, Kazuhiko Moji, Marcello Otake Sato, Jitra Waikagul. Distribution patterns of *Opisthorchis viverrini* and *Haplorchis taichui* infections in two villages of Savannakhet Province, Lao PDR. Joint International Tropical Medicine Meeting 2013. 2013.12.11-13 (Bangkok, Thailand)
14. Takahashi M, Yamahira A, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Hashimoto S, Bogan B, Faure-Kumar E, Kasahara N, Narita M. Antigen presenting ability in the leukemic plasmacytoid dendritic cell line by lentiviral vector-mediated transduction of CD80 gene. アメリカ免疫学会 2013年5月3-7日 (ホノルル)

15. Takahashi M, Iwabuchi M, Yamahira A, Satoh N, Uchiyama T, Hashimoto S, Bonehill A, Faure-Kumar E, Kasahara N, Narita M. Enhancement of antigen-specific CTL inducing ability in the leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11) by lentiviral vector-mediated transduction of caTLR4 gene. 第15回国際免疫学会 2013年8月22-27日 (ミラノ)
16. Takahashi M, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Iwaya S, Oiwa E, Nishizawa Y, Hashimoto S, Narita M. Efficient generation of antigen-specific CTLs by caTLR4 gene transduced leukemic plasmacytoid dendritic cell line (caTLR4-PMDC11). 第43回オーストラリア免疫学会 2013年12月2-5日 (ウェリントン)
17. 佐藤光希・園田桂子・飯嶋賢一・八木原伸江・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・南野 徹・阿部 晃・池主雅臣. 右室流出路起源の期外収縮をトリガーとする多形性心室頻拍が見られた潜在性type-2QT延長症候群の1例. 第25回臨床不整脈研究会. 平成25年1月12日 東京
18. 石田尚子, 岡田 隆, 長谷川進, 西塔 毅, 渡部 裕, 園田桂子, 八木原伸江, 飯嶋賢一, 佐藤光希, 和泉大輔, 古嶋博司, 池主雅臣, 南野 徹. 心室再同期療法中に心房リードでのファーフィールド心室波センシングによる不適切なモードスイッチを繰り返した1例. 第5回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成25年2月23-24日 東京
19. 佐藤光希, 渡部 裕, 田辺恭彦, 伊藤英一, 吉田 剛, 林 由香, 園田桂子, 飯嶋賢一, 八木原伸江, 和泉大輔, 古嶋博司, 池主雅臣, 津田隆志, 南野 徹. 冠攣縮性狭心症におけるJ波と心室細動の関係. 第274回新潟循環器談話会例会. 平成25年3月2日 新潟
20. Chinushi M, Izumi D, Iijima K, Suzuki K, Saito O, Honma H, Satoh A, Furushima H, Iwafuchi M. Site-specific differences in the renal nerve stimulation-induced blood pressure response and histological effects of radiofrequency renal artery ablation. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
21. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Satoh A, Watanabe H, Minamino T. Usefulness and significance of electroanatomical voltage mapping in malignant form of idiopathic ventricular tachyarrhythmia originating from the RVOT. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
22. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Satoh A, Watanabe H, Minamino T. Effectiveness of catheter ablation to narrow channel of macroreentrant circuit around septal patch in ventricular tachycardia with tetralogy of fallot. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
23. Hasegawa K, Ohno S, Itoh H, Hattori T, Makiyama T, Chinushi M, Matsuura H, Horie M. A novel KCNQ1 missense mutation identified in a patient with juvenile-onset atrial fibrillation causes constitutive open IKs channel. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
24. Hasegawa K, Ohno S, Kawamura M, Dochi K, Itoh H, Hayashi H, Makiyama T, Chinushi M, Itoh M, Horie M. A Rare KCNE1 polymorphism, D85N, as a genetic modifier in severe phenotypes of catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
25. 佐藤真理子, 内山博子, 田川 実, 落合幸江, 中村裕一, 池主雅臣. 右室中隔ペーシングによる奇異性運動改善の検討. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
26. Izumi D, Chinushi M, Iijima K, Suzuki K, Saito O, Satoh A, Furushima H, Minamino T. Peak-to-end interval on the surface precordial ECG leads represents a distribution of the intracardiac spatial LV repolarization 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
27. Suzuki H, Hoshina S, Satoh A, Furushima H, Chinushi M, Saitou A. Lethal arrhythmic risk of short QT interval in school health examination. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
28. Satoh A, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Minamino T. Beta-blocker therapy in patients with genetically defined congenital long QT syndrome: relationship to their Schwarz score. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
29. 遠山英子・熊谷浩一郎・佐藤光希・渡部 裕・池主雅臣・南野 徹. SCN5A遺伝子W1095C変異を認めた家族性心房細動の1例. 第43回臨床心臓電気生理. 平成25年5月18日名古屋
30. Sato A, Watanabe H, Iijima K, Yagihara N, Izumi D, Furushima H, Chinushi M, Minamino T. Failure of cardiac

- resynchronization therapy associated with left ventricular lead fracture. The 28th annual meeting of the Japanese Heart Rhythm Society. 2013/7/4-6 Tokyo
31. Iijima K, Chinushi M, Sonoda K, Yagihara N, Sato A, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Minamino T. Progressive increase of activation delay during premature stimulation is related to a high defibrillation threshold in Brugada syndrome. The 28th annual meeting of the Japanese Heart Rhythm Society. 2013/7/4-6 Tokyo
 32. Tagawa M, Nanba K, Ochiai Y, Nakamura Y, Chinushi M. Isoproterenol infusion and exercise test showed discordant effects in the ventricular response in a patient with second degree of wenchebach-type atrio-ventricular block. The 28th annual meeting of the Japanese Heart Rhythm Society. 2013/7/4-6 Tokyo
 33. Ohtsuki S, Izumi D, Iijima K, Yagihara N, Sato A, Watanabe H, Furushima H, Chinushi M, Minamino T. Electrical storm due to reentrant ventricular tachycardia after cardiac resynchronization therapy in a patient with idiopathic dilated cardiomyopathy. The 28th annual meeting of the Japanese Heart Rhythm Society. 2013/7/4-6 Tokyo
 34. 飯嶋賢一, 園田桂子, 八木原伸江, 佐藤光希, 和泉大輔, 渡部 裕, 古嶋博司, 池主雅臣, 南野 徹. 心室細動の周波数特性と臨床的特徴の予知. 第3回四圍循環器カンファランス. 平成25年7月20日 長野
 35. 池主雅臣, 鈴木克弥, 齋藤 修, 飯嶋賢一, 和泉大輔, 佐藤光希, 古嶋博司, 南野 徹, 岩淵三哉. 神経電気刺激と高周波通電による腎動脈自律神経興奮への介入. 第30回日本心電学会学術集会 平成25年10月11-12日 青森
 36. 風間絵理菜, 田川 実, 中村裕一, 大倉裕二, 浅井泰博, 南場一美, 落合幸江, 池主雅臣, 南野 徹. 急性期および慢性期の心室性不整脈の治療に苦慮した劇症型心筋炎の1例. 第30回日本心電学会学術集会 平成25年10月11-12日 青森
 37. 田川 実・南場一美・落合幸江・中村裕一・池主雅臣. 遅伝導路による房室伝導のために運動負荷とイソプロテレノール負荷でⅡ度房室ブロックが出現した症例. 第11回信越心電図セミナー. 平成25年10月19日 赤倉
 38. 杉浦広隆・阿部 暁・樋口浩太郎・大塚英明・池主雅臣. 鎮静薬が誘発性に影響したため診断に苦慮した long RP' 頻拍の1例. 第11回信越心電図セミナー. 平成25年10月19日 赤倉
 39. 保坂幸男・高橋和義・大久保健志・矢野利明・尾崎和幸・土田圭一・田中孔明・柏 麻美・中村則人・三井田努・小田弘隆・池主雅臣. 心内膜・心外膜・大動脈冠尖からの通電を駆使して治療した肥大型心筋症の心筋層内起源心室頻拍. 第11回信越心電図セミナー. 平成25年10月19日 赤倉
 40. 和泉大輔・池主雅臣・大槻 総・勝海悟郎・長尾智美・園田桂子・八木原伸江・飯嶋賢一・佐藤光希・渡部 裕・古嶋博司・南野 徹. 左側相同型心房内臓錯位症候群による下大静脈欠損を合併して心房中隔欠損症の修復術後に切開線関連心房頻拍を認めた1例. 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2013. 平成25年11月1-3日横浜
 41. 保坂幸男・池主雅臣・高橋和義・大久保健志・矢野利明・尾崎和幸・土田圭一・田中孔明・柏 麻美・中村則人・三井田努・小田弘隆. 心内膜・心外膜・大動脈冠尖からの通電を駆使して治療した肥大型心筋症の心筋層内起源心室頻拍. 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2013. 平成25年11月1-3日 横浜
 42. 勝海吾郎・和泉大輔・大槻 総・長尾智美・飯嶋賢一・小田雅人・佐藤光希・渡部 裕・古嶋博司・池主雅臣・南野 徹. 左室基部後側壁心外膜側起源の心室性期外収縮をトリガーとして心室細動を繰り返した type3 Brugada型心電図を示す特発性心室細動の1例. 第26回心臓性急死研究会 平成25年12月21日 東京
 43. 齋藤 修, 池主雅臣, 鈴木克弥, 大塚英明, 樋口浩太郎, 阿部 暁, 杉浦広隆. J波出現様式に対する自律神経興奮と心室再分極の関与: ホルター心電図を用いた検討. 2013日本循環器学会総会 平成25年3月15-17日 横浜
 44. 齋藤 修, 池主雅臣, 鈴木克弥, 大矢佳奈, 杉浦広隆, 阿部 暁, 樋口浩太郎, 大塚英明. J波の日内変動から観る自律神経興奮の不整脈源性. 第33回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会 平成25年6月8日 東京
 45. 佐藤弘恵, 近藤直樹, 藤澤純一, 荒井勝光, 遠藤直人, 山崎美穂子, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒

- 田 毅, 中野正明, 成田一衛: ビスホスホネート使用腰原病患者におけるX線上過剰骨代謝回転抑制(SSBT-Xp)と骨代謝マーカーおよび骨密度との関係. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2013.04.18-20 (京都)
46. 和田庸子, 山崎美穂子, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: ANCA関連血管炎における尿中CD3陽性細胞数は疾患活動性を, CD14陽性細胞数は腎機能障害を反映する. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2013.04.18-20 (京都)
47. 中野正明, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 成田一衛: B細胞活性化因子(BAFF)のSLEにおける動態. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2013.04.18-20 (京都)
48. 黒田 毅, 山崎美穂子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 成田一衛: 関節リウマチ合併アミロイドーシスの血液透析導入後の生命予後に対する生物学的製剤の影響. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2013.04.18-20 (京都)
49. 藤澤純一, 近藤直樹, 根津貴広, 中野正明, 黒田 毅, 村上修一, 和田庸子, 中枝武司, 佐藤弘恵, 荒井勝光, 遠藤直人: 当院における生物学的製剤の有効性と継続性の検討-2013年版-. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2013.04.18-20 (京都)
50. 中野正明, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, 成田一衛: 多発性筋炎・皮膚筋炎(PM・DM)の腎障害. 第56回日本腎臓学会学術総会, 2013.05.10-12 (東京)
51. 和田庸子, 石川 肇, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: セルトリズマブ・ペグル使用中に右手関節固定術を施行した関節リウマチの1例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
52. 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 寛解導入にトシリズマブ単回使用が有効であった成人スチル病の二例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
53. 黒澤陽一, 和田庸子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 佐伯敬子, 中野正明, 成田一衛: 長期経過中に頭蓋内腫瘍性病変を来した多発血管炎性肉芽腫症の1例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
54. 須藤真則, 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 村上修一, 石黒卓朗, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: FDG-PET/CT, ガリウムシンチで全身の骨格筋に著明な集積が認められたサルコイドーシスの一例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
55. 村上修一, 山崎美穂子, 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 成田一衛, 黒田 毅, 中野正明: 診断に歯肉生検が有用であった多発血管炎性肉芽腫症の2例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
56. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスの初回ステロイド投与におけるスタチンの大腿骨頭壊死予防効果の検討. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
57. 和田庸子, 中枝武司, 村上修一, 田中智之, 増子正義, 古川達雄, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 骨髄移植後寛解した, 抗TNF製剤治療抵抗性の骨髄異形成症候群(MDS)合併腸管Behcet病の1例. 第25回中部リウマチ学会, 2013.09.06-07 (金沢)
58. 須藤真則, 大坪亜矢, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 森山寛史, 成田一衛, 石黒卓朗, 黒田 毅, 中野正明, 河内 泉, 西澤正豊, 鈴木栄一: FDG-PET/CT, ガリウムシンチで全身の骨格筋に著明な集積が認められたサルコイドーシスの一例. 第33回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会, 2013.10.25-26 (東京)
59. Wada Y, Sakatsume M, Nakano M, Narita I: Urinary inflammatory cells strongly reflect the disease activity and renal function in antineutrophil cytoplasmic autoantibody-associated vasculitis. Annual meeting of American College of Rheumatology, 2013.10.25-30 (San Diego, USA)
60. 黒田 毅, 中野正明, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一: 関節リウマチにおける肝炎対策. 第20回新潟リウマチ医の会, 2013.01.12 (新潟)
61. 中枝武司, 風間順一郎, 佐藤弘恵, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテ

- マトーデスにおけるアルファカルシドールによる降圧の可能性. 第24回日本腎性骨症研究会, 2013.02.23(東京)
62. 三ツ間友里恵, 和田庸子, 黒澤陽一, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 佐伯敬子, **中野正明**, 成田一衛: 長期経過中に頭蓋内腫瘍性病変を来した多発血管炎性肉芽腫症の1例. 第96回膠原病研究会, 2013.06.04 (新潟)
 63. **中野正明**: 多発性筋炎・皮層筋炎の腎障害. Rheumatology Conference 2013, 2013.06.08 (東京)
 64. **成田美和子**: 遺伝子導入によりさらに抗原提示能を高めた形質細胞様樹状細胞由来細胞株を用いたWT1およびCMVpp65特異的CTLの誘導. 第28回新潟血液免疫学研究会 2013年2月15日 (新潟)
 65. **成田美和子**: NK細胞の増殖に対する dasatinib の直接作用. 第4回新潟Ph白血病研究会 2013年2月22日 (新潟)
 66. **成田美和子**, 山平晶恵, 内山孝由, 岩渕 南, 佐藤直哉, 橋本誠雄, 森山雅人, 増子正義, 瀧澤 淳, 曾根博仁, **高橋益廣**. CD80およびcaTLR4遺伝子導入による形質細胞様樹状細胞性白血病細胞株の抗原提示能増強. 第23回日本樹状細胞研究会 2013年5月17日 (京都)
 67. **成田美和子**, 増子正義, 西澤幹則, 内山孝由, 岩谷俊平, 大岩恵理, 岩渕 南, 佐藤直也, 井田桃里, 曾根博仁, **高橋益廣**. WT1ペプチドワクチンによって遺伝子学的寛解を維持しているCML例ー長期間観察されているWT1テトラマー陽性細胞の解析. 造血器腫瘍免疫療法研究会 2013年8月24日 (名古屋)
 68. Narita M, Masuko M, Uchiyama T, Ida T, Iwabuchi M, Satoh N, Furukawa T, Koike T, Takahashi M. Long-term amplification of WT1-tetramer positive CD8+ cells in a patient with CML who achieved to MMR by WT1 peptide vaccine combined with imatinib. 第15回CML国際カンファランス 2013年9月26-29日 (エストリール、ポルトガル)
 69. Narita M, Masuko M, Uchiyama T, Ida T, Iwabuchi M, Satoh N, Oiwa E, Nishizawa Y, Iwaya S, Takizawa J, Sone H, Takahashi M. Long-term WT1-specific CTL amplification in CML who achieved MMR by WT1 vaccine with imatinib. 第75回日本血液学会総会 2013年10月11-13日 (札幌)
 70. Iwaya S, Narita M, Masuko M, Nishizawa Y, Ida T, Oiwa E, Shibasaki Y, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Sone H, Takahashi M. Successful treatment of molecularly exacerbated CML with WT1 peptides --- association with long-term generation of WT1 tetramer+ T cells. 第42回日本免疫学会 2013年12月11-13日 (幕張)
 71. Oiwa E, Narita M, Iwaya S, Nishizawa Y, Uchiyama T, Iwabuchi M, Satoh N, Takahashi M. Identification of IFN- γ production and cytotoxicity in WT1 tetramer+ T cells generated by mixed lymphocyte peptide culture in WT1 peptide immunized persons. 第42回日本免疫学会 2013年12月11-13日 (幕張)
 72. Nishizawa Y, Narita M, Iwaya S, Oiwa E, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Matsuyama A, Fujiwara H, Takahashi M. Ustekinumab improves psoriasis without suppressing tumor antigen-specific cytotoxic T lymphocytes. 第42回日本免疫学会 2013年12月11-13日 (幕張)
 73. Iwabuchi M, Narita M, Oiwa E, Satoh N, Uchiyama T, Hashimoto S, Bonehill A, Faure-Kumar E, Kasahara N, Takahashi M. Transduction of caTLR4 gene enhances antigen-specific CTL inducing ability of leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11). 第42回日本免疫学会 2013年12月11-13日 (幕張)
 74. Uchiyama T, Narita M, Oiwa E, Iwabuchi M, Satoh N, Iwaya S, Nishizawa Y, Takahashi M. Analysis of the usage of human T cell receptor b chain variable regions of antigen specific cytotoxic T lymphocytes. 第42回日本免疫学会 2013年12月11-13日 (幕張)
 75. Nozaki H, Sekine Y, Fukutake T, Nishimoto Y, Shibata M, Shirata A, Yamane K, Shimoe Y, Yanagawa S, Hirayama M, Nakano I, Suzuki N, Nishizawa M, Onodera O : MRI Features of Cerebral Autosomal Recessive Arteriopathy with Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy. 65th AAN annual meeting, March, 2013
 76. 他田正義, 今野卓哉, 他田真理, 小山哲秀, **野崎洋明**, 高橋 均, 西澤正豊, 小野寺理, 柿田明美, 池内 健: 神経軸索スフェロイドを伴う白質脳症HDLSの臨床・画像・遺伝学的解析. The 32nd Annual Meeting of Japan Society for Dementia Research, November, 2013
 77. 今野卓哉, 他田正義, 他田真理, 小山哲秀, **野崎洋明**, 高橋 均, 西澤正豊, 小野寺理, 柿田明美, 池

- 内 健：神経軸索スフェロイドを伴う白質脳症HDLSの病態解析 ハプロ不全とCSF1Rシグナル障害。
The 32nd Annual Meeting of Japan Society for Dementia Research, November,2013
78. 関根有美, 加藤泰介, **野崎洋明**, 廣川祥子, 佐藤俊哉, 志賀 篤, 横山峯介, 西澤正豊, 小野寺理：周皮細胞被覆率の解析による脳小血管障害評価法の検討. 54th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May, 2013
79. 他田正義, 今野卓哉, 他田真理, 荒川武蔵, 小山哲秀, **野崎洋明**, 針谷康夫, 西宮 仁, 松永晶子, 米田 誠, 吉倉延亮, 犬塚 貴, 石原健司, 河村 満, 高橋 均, 小野寺理, 西澤正豊, 池内 健：神経軸索スフェロイドを伴う白質脳症HDLSの臨床・遺伝学的解析. 54th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May, 2013
80. 今野卓哉, 他田正義, 小山哲秀, 他田真理, 荒川武蔵, **野崎洋明**, 針谷康夫, 西宮 仁, 松永晶子, 米田 誠, 吉倉延亮, 犬塚 貴, 石原健司, 河村 満, 高橋 均, 小野寺理, 西澤正豊, 池内 健：神経軸索スフェロイドを伴う白質脳症HDLSにおけるCSF1Rシグナル伝達異常の解析. 54th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May, 2013
81. **野崎洋明**, 齊藤洋平, 二本松萌, 小山哲秀, 加藤泰介, 西澤正豊, 小野寺理：Dominant negative効果をもつ変異型HTRA1はヘテロ接合体でも脳小血管病を引き起こす. 54th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May, 2013
82. Nozaki H, Sekine Y, Fukutake T, Nishimoto Y, Shibata M, Shirata A, Yamane K, Shimoe Y, Yanagawa S, Hirayama M, Nakano I, Suzuki N, Nishizawa M, Onodera O.: MRI Features of Cerebral Autosomal Recessive Arteriopathy with Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy. The 8th International Congress on Vascular Dementia, October, 2013
83. Matsuda Y, Osawa M, Fujimaki S, Wakai T, Kubota M, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y. Valproic acid confers resistance to sorafenib in mice with hepatocellular carcinoma. 欧州消化器病学会週間 (United European Gastroenterology: UEG Week)
84. Osawa M, Matsuda Y, Fujimaki S, Wakai T, Kubota M. chemotherapy-induced apoptotic hepatoma cells stimulate compensatory proliferation. 欧州消化器病学会週間 (United European Gastroenterology: UEG Week)